

2012年4月27日
矢崎総業株式会社

停電時にLPガス発電で電力確保
『ポータブルLPガス発電システム』予約販売を開始

矢崎総業株式会社（社長：矢崎信二、資本金：31億9,150万円、本社：東京都港区）は、一般家庭に設置されているLPガス容器内のLPガスで発電できる『ポータブルLPガス発電システム』を2012年夏から発売します。

発売に先立ち、当社では5月1日より予約注文の受付を開始します。

今回発売する『ポータブルLPガス発電システム』は、本田技研工業株式会社が新規開発した「低圧LPガス発電機」に、当社が開発した液石法（液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律）に準拠した「専用ガス供給ボックス」を組み合わせしており、両社の共同取り組みで実現したシステムです。

東日本大震災以降、電力の安定供給に対する不安から、ポータブル発電機（3kVA以下）の市場は拡大を見せています。これまでのポータブル発電機の燃料は、自動車用無鉛ガソリンが主流で、専用のカセットガスボンベを使用できる製品もあります。

こうした中、普段家庭や店舗で使っているLPガスを、停電時には発電用の燃料として活用できないかという消費者の要望を受け、当社では、本田技研工業が開発を進めていた低圧LPガス発電機の開発に協力すると共に、屋外で使用されるポータブル発電機にLPガスを供給する専用ガス供給ボックスを開発しました。

専用ガス供給ボックスにはガス栓や迅速継手（金属製）付きガスコードが装備されており、あらかじめ消費者宅のガス配管に組み込むことで、ポータブル発電機への接続は一般消費者でも簡単に行えます。

LPガス容器内に50kgのガスがあれば、約100時間の運転が可能で、発電に使用したLPガスの使用量は、既設のガスメータで計量することができます。

LPガスは、災害に強いエネルギーとして東日本大震災以降、特に注目を集めています。当社では、家庭や店舗に設置されているLPガス容器は、「軒先に備蓄されている分散型エネルギー」であると捉え、今回の発電システムを防災意識の高いLPガス消費者宅や、防災拠点として地域貢献をされるLPガス事業者、LPガスバルク貯槽ユニットを備えた公共施設などに販売して行く計画です。

当社では、LPガスの多様性を活かし、停電時の電力確保を推進すると共に、平時の需要拡大や業界発展に寄与して行きたいと考えています。

【標準価格】

『ポータブルLPガス発電システム』 230,790円
 (ガスコード全長3m、消費税込、工事費別途)

【低圧LPガス発電機の仕様】

製品型式	EU9iGP	
排気量	57cc	
出力	定格出力	900VA
	直流出力	12V-8A
使用燃料	低圧LPガス	
使用温度範囲	-15~40℃	
定格ガス消費量	約6kW	
装備重量	14kg	
全長×全幅×全高	451×242×379mm	
並列運転	可	
エコスロットル	あり	
燃料停止機構	オート (シャットオフバルブ搭載)	
製造元	本田技研工業株式会社	

【専用ガス供給ボックスの仕様】

製品名称		ガス供給ボックス (発電機用3m)	ガス供給ボックス (発電機用5m)
ボックス	外形寸法	幅300×高300×奥行130mm (突起部を除く)	
	ボックス色	ベージュ色 (5Y7.5/1.5)	
接続	供給側	R1/2	
	発電機側	迅速継手 (液石法準拠、屋外)	
ガスコード	全長	3000mm	5000mm
	ホース部	内径7±0.4mm、外径13mm以下	
	ホース色	シルバー	
末端ガス栓		検査孔付可とう管ボールガス栓	

※仕様は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

以上

【写真】『ポータブルLPガス発電システム』

【上】専用ガス供給ボックス（矢崎総業製）

…ガス栓とLPガスを供給する専用ガスコード（長さ3mまたは5m）を装備

【下】低圧LPガス発電機（本田技研工業製）



この件に関するお問い合わせ先
矢崎総業株式会社 広報部
Tel. 055-965-3002
Fax. 055-965-0450

製品についてのお問い合わせ先
矢崎総業株式会社 ガス企画部
Tel. 053-925-4511
Fax. 053-925-4512